

神戸空襲と神戸港の写真展



～神戸に平和記念館を～

戦後73年、神戸に大きな空襲があったことも、その資料や遺品も人々の記憶から忘れ去られようとしています。

なぜ神戸の街や港がねらわれたのか、東京大空襲より死傷者の比率が高かったのか。戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぐために、今年も神戸空襲展を開催します。平和や戦争について、家族や友人たちと話し合ってみませんか。

入場無料

日時: 11月1日(木)～7日(水)

AM 10時～PM6時(3、4日はPM5時、最終日はPM3時まで)

場所: 新長田勤労市民センター

ギャラリー(3F) TEL 078-643-2431

最寄り駅 神戸市営地下鉄、JR 新長田駅西南側3分 西友があるビル

開催中に講演会があります!

世界の資料館と神戸空襲～第1次資料の保存の必要性～

講師: 大井田 孝氏「戦没した船と海員の資料館」スタッフ

日時: 11月4日(日) PM2時～PM4時

場所: 新長田勤労市民センター 3F 講習室1

参加費: 500円



昭和17年生まれ。昭和36年4月電電公社入社。電電公社が民間後NTTデータへ。平成17年4月から「戦没した船と海員の資料館」のスタッフとして従事。

主催: 神戸に平和記念館をつくる会

後援 神戸市、神戸市教育委員会、神戸新聞社、サンテレビジョン

お問い合わせ 下司幸子 TEL 078-277-2636 米田哲夫 TEL 090-8658-8579

イラスト CHISA



若者と子どもたちのために

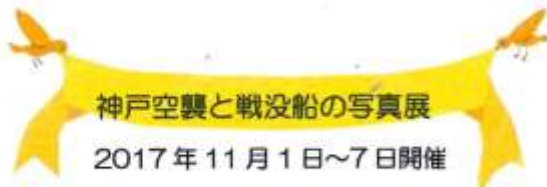
神戸に「平和記念館」をつくりませんか

戦後73年たち、神戸大空襲の経験や教訓を伝えることや、遺品や資料の保管も困難になっています。現在神戸市は、ホームページ「神戸 災害と震災 資料館」を開設していますが、「平和記念館」がありません。「二度と戦争は嫌だ」という私たちの願いを引き継ぐためには、センターとしての「平和記念館」が必要だと考えています。

とりわけ最近の社会の状況は、あの自由も人権もない戦前に引き戻される「恐さ」を感じます。神戸に平和記念館をつくるため、平和を願うすべての人たちと一緒に、知恵と力をあわせて進んでいきたいと思っています。

「平和記念館」をめぐる神戸市の状況

1994年9月笹山市長（当時）の呼びかけにより「平和記念館」設置に向けての取り組みが始められ、翌年の阪神淡路大震災で一時中断しましたが、1998年に「神戸平和記念館基本構想懇談会報告書」が出されました。しかし、その報告書は大震災から23年たつ現在も、ホームページを開設していることを理由に凍結されたままです。



写真展参加者の感想より・・・

◆貴重な写真展ありがとうございました。戦争が風化される中、神戸が、かつて兵器工場が有り、戦後米軍占領下も軍港として使用されていた歴史、船の資料館のように、神戸市にも戦争の記憶をお継承する平和記念館が必要です。写真展の中に、戦争中強制連行されてきた人々の記録も含めて欲しかったです。（神戸港周辺の記念碑なども）



- ◆ 神戸に平和記念館を作ろうという運動があるとは知りませんでした。
- ◆ 「神戸空襲戦災地図」わかりやすいです。3月17日と6月5日の空襲の規模の大きさがわかりやすい。
- ◆ 大学病院の前に住んでいて3月17日の神戸空襲を受けました。今、展示されている展示物が、ずーと展示できる記念館がいりますね。

